

方		西			南				面方洋平太部中		
ク エ ゼ リン		ツ ゲ ガ ヲ オ	シ ヤ フ	ケ ン ダ リ	メ ナ ド				ロ タ	大 島 島	父 島
八百		八百 一〇 五八 三三 五〇	八百 一一 四二	八百 一〇 三〇	九百 一一 二二	八百 一〇 三三	八百 一〇 三三	八百 一〇 三三	八百 一〇 三三	九百 〇〇 八八 五五 三三	七百 一一 二〇 〇五
PFB B 4 YU		PFB B 4 YU	PFB B 4 YU	PFB B 4 YU	四 発	B 二 四	B 二 四	B 二 四	F 二 四	B 二 九	B 二 九
一 八		一 八	一 九	一	一	一	一	一	四	六	一
		回 銃 爆 撃	投 彈	銃 撃	市 爆 撃	回 銃 撃			被 害 死 兵 三 員 傷 三	外 周 哨 戒	

面方那支海上					面方	
上 海	武 漢	武 昌	高 雄	南 鮮	南 大 東 島	北 大 東 島
九百 〇〇 三一 〇〇	八百 一一 四三 一七	七百 〇〇 二四 四五	八百 一一 三三 四八	九百 一一 三〇 〇〇	九百 一一 三〇 〇〇	九百 一一 三〇 〇〇
大 型	P 五 五	P 五 一	B 四	P 五 一	F 四 U 所	航 空 機
三	二 四	四	一	二	六 五	四 五
西 地 已 投 彈	被 害 特 技 砲 艇 一 艘 沈 没	回 銃 爆 撃	哨 戒	被 害 商 船 二 沈 没 一 破	回 銃 爆 撃	西 海 岸 砲 撃

戦況ニ關シ御説明資料

昭和二十年六月十日

面	
「マカソル」	
八日 二二 一〇 七七	八日 二二 五三 二五
四巻 一	四巻 一
投弾	銃撃 戦果被害ナシ

一南西諸島方面敵情

(1) 昨十日南西諸島方面、全般的天候不良ニシテ午前中九州方面より列島線東方海面ニ對シテ索敵ヲ實施スルニ敵情ヲ得ズ又沖繩島周辺ニ於テモ視界ノ不良ノ為敵艦ヲ視認セズ

(2) 昨十日早朝南大東島南方ヲ西航中ノ敵艦艇三隻巡洋艇三隻駆逐艇五隻ハ〇六三〇年〇八〇〇ノ間同島

ニ接岸飛行場ニ対シ飛砲射撃ヲ実施又之ニ伴行
〇八〇〇ヨリ〇九〇〇ニ亘リ敵飛上機延七三機及覆未襲
銃爆撃ヲ行ヒタルモ被害ハ輕微ナリ

(ハ) 昨十日南西諸島方面ニ未襲セシ敵機ハ延約二三〇
機ニシテ南南九州ニ対シテハ〇七五〇ヨリ〇八四五ニ亘リB24型
P40型F6F計ニ九機ヲ以テ強行偵察ヲ実施引續キ
午後P40型一機國分鹿屋兩基地ニ未襲銃撃ヲ

行ヒタルモ何レモ被害ナシ

ニ昨十日南西諸島方面天候不良ノ為九州方面台湾方面
ヨリニ沖繩方面夜間攻撃ハ何レモ取止メタリ

尚天航空部一隊ニ格下ハ昨日夕刻毫下夜間攻撃部
隊ニ対シ急速兵力ノ整備及練度ノ向上ニ努ムルト共ニ一
部兵力ヲ以テ連務沖繩方面攻撃ヲ實施スル様下
会セリ

三、日本海方面ニ対スル敵潜水艇ノ侵入ヲ絶体ニ阻止スル
 為豫メ所要兵力ヲ對馬、宇治及津輕各海峡ニ
 配シ防備警戒ヲ嚴ニシテアリタル処遂ニ敵潛侵入シ昨

十日判明セル味方艦船ノ被害左ノ如シ

日時	損傷艦船	被害位置	被害状況	記事
七、二〇〇〇	アサギ(油一〇〇〇吨)	朝鮮南方濟州海峡	被雷擊沈没	(搭載物件不明)
九、一七三〇	貨物船(船名不詳)	朝鮮南東(日海)	同	(民情報)
九、二〇〇〇	佐川丸(二二八九吨)	佐渡島西方海面	同	搭載物件不明
一〇、一二七八	伊一二二潜	独登半島北東海面	浮上中 被雷擊沈没	
一〇、一三一一	貨物船(約一〇〇〇吨)	清津南東海面	被雷擊沈没	

右状況ニ對處シ第一海上警戒艦隊所屬ノ海防隊一隊
 (海防艇約八隻)及對潜哨戒機ヲ可及的多數集結
 部隊ニ増強シ敵潛ノ徹底的掃蕩擊滅ヲ期ス
 ルト并ニ各海峡ノ警戒戒ヲ一層嚴シ敵潛ノ脱出侵
 入ヲ封ズル如ク處置ス

四、各地空襲状況別表通

(終)

別表

方面	南	西	諸	石垣
場所	大島	喜界島	沖繩	久米島
日時	午前 午後	午前 午後	午前 午後	午前 午後
敵兵力	三〇	八	一五〇	一〇
記	本島用辺洋上行動攻撃七六 曾津言崎銃撃 名座堂川序方面銃撃 本島上空哨戒中 内は機銃撃	機銃攻撃目標昨日二全ジ	常時上空巡回 銃撃	未襲副滑走路被弾七六 本日中使用不能

方北	那	交	湾台	洋手
武 藏	安 慶	蕪 湖	武漢 地区	本島 周辺
○ ^{100日} 1259	— 1237	— 1120	○ ^{100日} 0912	○ ^{9日} 1234
B ^{100日} 141	P ^{100日} 18	P ^{100日} 51	P ^{100日} 138	P ^{100日} 12
四附近投弾	傳音	未發	傳音	傳音
破音↑				

中 部 太 洋		南 西 方 面			島
パ ラ オ	ス ラ バ ヤ	ケ ン ダ リ	マ カ ワ サ ル	南 大 東	
○ ^{9日} 75	○ ^{9日} 2100	○ ^{10日} 1100	○ ^{9日} 1400	○ ^{10日} 900	— 1725
FF ^{100日} FF	f ^{100日} f	B ^{100日} 12	f ^{100日} f	f ^{100日} f	f ^{100日} f
— 21	— 3	— 1	— 15	— 12	— 73
銃標撃	銃標撃	投弾	投弾	投弾	海軍田銃標撃

昭和二十年六月十三日

戦況ニ關シテ御説明資料

一、南西諸島方面敵情

(1) 昨十日南西諸島方面、全般の_二曇_一乃至兩艘探_二号_一
午後九州方面より列島線東方海面_二号_一の常敵ヲ見
施_二る_一に敵情ヲ得_二ず_一沖繩島周辺に泊敵艦艇_一モ一
昨十日陸上より視認セ_二ル_一敵艦艇三隻巡洋艇五隻記
逐艇一六隻輸送船約五〇隻ト大差ヲ探得スリ

(2) 昨十日南西諸島方面_二号_一の敵艦、未襲ハ石垣島

ニ着シ返一〇機其、他島嶼ニ対シ返約五〇機ニシテ
比較的低調ナリ

(ハ)小祿地軍部隊ハ全軍ニ氣軒昂目下沖繩
根據地隊司令部陣地前ニ於テ敵ヲ邀撃激戦
中ナリ

二、昨十日〇八五〇ヨリ約一時間ニ亘リB24型ニ機P47型12機
南九州ニ来襲一部投弾セルモ被害ナシ

尚本朝〇〇〇頃下関海峡及若狹湾ニ夫々B29型約
二〇機侵入機雷ヲ投下セリ

三、昨十日北千島、松輪島ハ一八五ヨリ一九二〇ニ亘リ兵力不
詳ノ敵水上艦艇ノ艦砲射撃ヲ受ケル旨ノ報告ニ
接セルモ詳細ニ関レテハ不詳ナリ

四、昨日一九五〇銀河四機宮崎基地ヲ發進沖繩周辺敵
艦艇ノ攻撃ニ向ヒタルモ天候不良及故障ノ為全機

引返セリ

其、他九州方面より昨夜引續キ本黎明沖繩周
辺ノ敵艦船及基地ニ着シ攻撃ヲ行施セシ模様ニモ
詳細不明ナリ

五、敵側新聞ノ報道要旨

(1) 米國第五艦隊長官「スフォルマス」ノ転任ニ際シ米國
海軍ノ沖繩作戦ニ於テ今迄ニ甚キ甚大ニ損害ヲ

蒙リタル旨語レリ

(2) 米國輿論「沖繩作戦」ノ損害莫大ニシテ結局ニ於テ
作戦目的達成ニ近キモ真珠湾ノ失敗より尚愚劣
ナル失敗作戦ナリト軍当局ノ責任ヲ責メナリ

詳細別紙ノ通

六、昨土日味方艦船被害尤ノ如シ

日 時	損傷 艦船	被害位置	被害状況	記 事
一〇三四五	博山丸(一八〇名)	津輕海峡西口	被雷撃沈没	(搭載物件不明)
一一一四五	第百四号丸(八三名)	津輕海峡東口	同	(同)

七、各地空襲状況別表(通)

(終)

別紙 電報寫(機密第一〇番電)

表 在オットカニ武官(リスカニ)

宛 軍令部第三部長

(平文)

一、本月四日三ヨリ「カニ」紙上ニ評語表列出ト、ロレシタ(当局ハ何故ニ沖繩作戦ノ真相ヲ隠蔽事ニヤ)ト題シ沖繩作戦ガ真珠湾ノ失敗ヲモ愚劣ガ失敗作戦ナトテ何故ニ軍当局責任者ハ率直ニ公表セザヤト軍当局ノ責任ヲ追究シ沖繩作戦ノ真相ハ確認セザル其ノ人的物的損害ノ公表ト共ニ漸次未だ国民中ニ知レテリ勿論沖繩作戦ハ結局ニ於テ其ノ作戦目的達成ニ近ク或レ意味ニ於テ勝利ト言ヒ得モ其ノ莫大ニ損害ハ今日迄ノ太平洋作戦ニ於テ米軍ノ遭遇シテ最悪ノ失敗作戦ナト云トテ述ハ更ニ現地地上部隊指揮官ノ若干ニ告シ其ノ愚劣

一、作戦指揮ヲ責メ海軍ニ対シテモ（北俾上陸ニ於テ拂ヒタル
 孫権ヲ達ニ大ニ損害ヲ沖繩上陸作戦ニ於テ蒙リタリトシテ
 之ヲ攻撃シテアリ
 二、ワレントンニ方面消息通ノ語ル処ニ依ルハ沖繩作戦ニ於テ日本
 特攻隊ノ攻撃ニ依リ米英兵隊ハ今日迄ノ太平洋ニ於テ
 各種作戦中最大ノ損害ヲ受ケタリ
 三、「スポルアンス」機智ハ今次ノ擔任ニ降シ語リタル処ニ依ルハ米英海
 軍ハ沖繩作戦ニ於テ今日迄ニ莫ク甚大ニ損害ヲ受ケタリ
 （以上美ノ開電）

別表

方面	場所	日	時	敵兵力	記
南方	沖繩	二月	七時	約 四〇〇	事
西南	大島	一	二時	三	曾津崎所銃撃
西	喜界	午前	中	三	日銃撃 被害ナシ
南	石垣	〇時	三〇	五	銃撃 被害 コトラック（修理中） 剛滑走路 被弾 四〇
諸島	宮古	〇時	三〇	八	銃撃 戦果 撃破 一、被害ナシ
	八丈島	〇時	三〇	一	銃撃 戦果 撃破 一、被害ナシ 陸軍 戦果 撃破 一、被害ナシ 島民 受傷 一 重傷 三
北方	台守	〇時	三〇	一	戦果 撃破 一

謹ニテ戦況ニ關シ 奏上ス

一、昨十二月本西諸島方面ノ天候不良ニシテ敵情ヲ得ズ又九州及香港方面ヨリシテ沖繩方面既ニ攻撃ニ関シテモ詳細不明ナリ

尚且方面ノ天候ハ明古日頃ヨリ同様ノ見込ナリ

二、昨十二月一三三五沖繩島小嶽方面ニ於テ孤立奮戦中ナリ
沖繩特別根據地隊ハ同司令部派敵ニ包圍セシ集中

攻撃ヲ受クルニ至リ凡ソ武骨ヲ以テ應我我聞出未ナ
ルモノハ自決スル等最後の奮我ヲ為シ又一新將士ヲ敵
後方攪亂ノ為残置セン模様ナモ一六一九通信連絡ヲ
断ツ旨ノ電報ヲ發セリ

三、昨十二日南西諸島方面ニ於テ空襲状況ハ宮古島ニ延
ハ約七五機未襲セル外著変ナリ其ノ外正午迄南九妙
基地ニ對シ下口ルニ十機P47二十機未襲雲上ヲ銃爆

撃ヲ行トスルモ被害ハ輕微ナリ

四、天候ニ依リ部隊ヲ於テ未ル十四日沖繩方面ノ敵ニ對スル
陸軍ノ我軍機約五〇機ヲ攻約五〇機ヲ以テスル等十
次總攻撃ニ呼應其ノ前日ヨリ南大車島ニ對シ
偽交信ヲ行ヒ敵機動部隊ヲ牽制スルニ方當時
沖繩周辺敵艦艇形攻撃ヲ行ヒ引續キ十四日黎明
偵察機ヲ以テ電探欺瞞ヲ行施スルト考ニ我軍機

全力及櫻花至ニ爆我ノ部ヲ出動セシメ沖繩周

辺ノ敵形ヲ悉シ昼間強襲ヲ決行ノ予定ナリ

五、其他ノ状況

(1) 昨十二日夕刻北千島ニ於テ、再び敵水上艦艇出現

掃島ニ對シ約三〇分間ニ亘リ所ノ強迫ニ於テ砲撃

ヲ行ヒタリ

尚一昨日夕刻同方面ヲ砲撃セシ敵推定兵力ハ極快

ニ艦艇五隻内外トテ事ノ現地ヲ報告ニ依リ查明セリ

(2) 去ル八日陸軍新隊ヲノ情報ニ依ル敵ハ同日一三〇

「ホルネオ」島北西部「ラブア」島ニ上陸ヲ開始セシ

モノノ如ク尚敵側放逐ニ依ル濠洲茅九師團及

茅六水陸兩用作我新隊ハ十日「ラブア」島及「ブル

湾」ニ上陸セシ模様ナリ

(ハ) 南西方面艦隊司令長官ヨリノ報告ニ依リ判明セル

中菲南菲及「スル」諸島方面現状左ノ如シ

「セブ」所在部隊約五〇〇名「セブ」西方山地ニ轉
進シタルモ四月十一日以降連絡杜絶ス「レイテ」派
遣海軍陸戦隊ノ現状ハ不明ナリ

「ダバオ」方面所在部隊約一〇〇〇名「ダバオ」北
西方ニテ交戦中ナルモ六月三日以後連絡杜絶シ

「サランガ」所在部隊約六〇〇名六月三日以後連絡ナシ尚「スルー」諸島方面ニ於テハ「サンボアング」部隊約三六三〇名三月三十一日北方へ轉進開始シ四月二十五日以後連絡杜絶セリ

「ホロ」所在部隊約四五〇名四月五日以後連絡無ク又「ボンガオ」所在部隊約四一〇名轉進五月下旬「ホルネオ」島北岸「サンダカン」ニ集結ラリシ

同方面警戒任務ニ從事中ナリ

六、味方艦船被害

- (イ) 一昨十一日一〇三〇笨二三七号駆潜特務艇ハ伊勢海入口ニ於テB24型二機ト交戦沈没セリ
- (ロ) 去ル九日〇九四五神鹿丸(B三六〇噸石炭三七〇噸塔載)ハ津輕海峡東口ニ於テ敵潜水艦ノ雷撃ヲ受ケ沈没セリ

ハ去ル九日ニ三〇〇北都丸〇三三〇〇頓ハ津輕海峡

西口ニ於テ敵潜ノ雷撃ヲ受ケ沈没セル事判

明セリ

以上ヲ以テ 奏上ヲ終ル

昭和二十年六月十三日

軍令部總長 豊田副武

参考表

方面	場所	日	時	敵兵力	記	事
南	宮古	二日	一〇時五〇分	PTBF 二八	銃爆撃	敵果 撃墜TBF一
	久米島	二日	一〇時三〇分	SBD 二	上空旋回	
西	マカツサル	二日	一〇時五〇分	B 二	銃爆撃	「マカツサル」半島南岸上帯偵察
	ケンダリー	二日	一〇時三〇分	B 二	銃爆撃	「マカツサル」半島西岸偵察

中 部 太 平 洋			支 那 方 面		面	
口 夕	口 カ ン	南 島 島	父 島	香 港	上 海	高 雄 港
二 日	二 日 一〇 七 七 八〇	二 日 一〇 三 三 五 五	二 日 一〇 三 三 五 〇	二 日 一〇 三 三 〇 〇	二 日 一〇 三 三 〇 〇	三 日 一〇 三 三 〇 〇
FB 二 九	BB 二 九	P B Y	P 五 一	P 三 八	大	B 三 五
一 五 五	二 五	一	一	二 〇	一 四	二 五
銃 標 撃 被 害 上	未 襲 被 害 上	偵 察	銃 標 撃 戦 果 被 害 上	上 海 投 弾 戦 果 被 害 上 B 三 八 一 三	戊 北 号 船 間 投 弾	侵 入

名 称		南 東 方 面					方 面		
名	基 隆	コ ボ ル ン 面					コ ボ ル ン 島	コ ボ ル ン 島	コ ボ ル ン 島
中	三 日 〇 九 〇 〇	二 日 一 〇 三 〇 〇	二 日 一 〇 三 〇 〇	二 日 一 〇 三 〇 〇	二 日 一 〇 三 〇 〇	二 日 一 〇 三 〇 〇	二 日 一 〇 三 〇 〇	二 日 一 〇 三 〇 〇	二 日 一 〇 三 〇 〇
B 二 五	B 二 五	F R N	P B R Y	F B R N	B 三 五	B 三 五	彈	B 三 五	B 三 五
八	一	三	三	六	一	二	二	一	一
北 岸 附 近 投 弾 被 害 民 家 五 場 二 若 干 P リ	侵 入 機 表 彈 投 下 被 害 上	コ ボ ル ン 及 周 辺 哨 戒					未 襲 被 害 上	偵 察	偵 察

昭和二十年六月十四日

戰況
關之
御說明資料

一、昨十三日南西諸島方面北部天候不良ニシテ、〇六四五沖大
東島ニ於テ南西方ニ。料ヲ空母一隻巡洋艦一隻駆
逐艦二隻高速ニテ南東進スルヲ認カタル外敵情不

明ナリ

沖繩島濠川沖ニ戦艦一隻巡洋艦一隻駆逐艦五
隻其他八隻ヲ認カレモ系滿沖ハ霧ノ為戦艦一隻、
外視認シ得ズ（陸軍部隊報）

尚菊水十部作戦、明十五日決行ノ事ト定メタリ、南西諸島方面天候ハ本日ヨリ明後日頃迄曇所依リ雨ノ見込ナリ

二、昨十三日南西諸島方面ニ未襲セル敵小型艇ハ合計四〇数艘ニシテ未襲地ハ主トシテ喜界島奄美大島久米島ナリ

尚宮古島石垣島ニモ一部未襲セル模様ナリ

三、アミダマンシ方面陸軍兵力抽出ノ為往航ノ途ニ在リテ第五十七師駆潜艇及第二黒潮丸ハ一昨十三日〇八二〇ノサハシノ北方三〇哩ニ於テ敵駆逐艇三隻ト交戦敵一隻ヲ撃破小火災ヲ發セシメ他ニモ命中弾ヲ與ヘタルモ〇八五五敵ノ砲雷撃ヲ受テ兩艇トモ沈没セリ此、敵ニ對シ陸軍機ハ機攻撃ニ向ヒタルモ未ダ攻撃ノ状況不明ナリ

四、船舶被害

一昨日。九一。能登半島富来湾、避泊中、露讓丸
 (C)貨三一四二七(瑞光丸)(C)貨二五七七七(陽山丸)(C)貨一三三七
 七)ハ碇泊中敵潜水艇、雷撃ヲ受テ沈没セリ

五、各地空襲状況別表ノ通

(終)

南 西 諸 島 方 面					別表
石垣	宮古	沖繩	久米島	大島	南 諸 島
面	方	島	諸	島	方
石	垣	宮	古	沖	繩
久	米	島	大	島	南
諸	島	方	面	別	表
三〇 二八七八七五〇八 〇三〇三五五二一五 〇〇八〇〇五五〇	二〇 一〇 七 二五 五〇	二〇 一〇 七 二五 五〇	二〇 一〇 七 二五 五〇	二〇 一〇 七 二五 五〇	二〇 一〇 七 二五 五〇
P B M	P B M	P B M	P B M	P B M	P B M
近 カ 一三	近 カ 一三	近 カ 一三	近 カ 一三	近 カ 一三	近 カ 一三
傳 送 機 二 機 一	傳 送 機 二 機 一	傳 送 機 二 機 一	傳 送 機 二 機 一	傳 送 機 二 機 一	傳 送 機 二 機 一
事	事	事	事	事	事

面方西南			面方湾台
ハリス島 シヤウ南岸	メナド方面	ツゲガラオ	台 湾
二日 〇二 一三 〇〇	三日 〇〇 三〇 〇五	二日 〇〇 〇〇 〇〇	二日 〇〇 〇〇 〇〇
B R	B R	P P B	B B P B R
二	一	七 七	八 二
投弾	夜弾 攻撃	銃爆撃	施回至通過 周回哨戒

面方洋平太部中				東 面	北 方
ト ラ ツ ク	南 島 島	河 か 島	女 島	幌 筵	
二日 三日 二日 一日 九日 八日 七日	二日 一日 一日 一日 一日 一日 一日	二日 二日 二日 二日 二日 二日 二日	二日 二日 二日 二日 二日 二日 二日	二日 二日 二日 二日 二日 二日 二日	二日 二日 二日 二日 二日 二日 二日
〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
B R P B R P B R	B R P B R P B R	B R P B R P B R	B R P B R P B R	B R P B R P B R	B R P B R P B R
二	一	七 七	八 二	八 二	八 二
青島第一回投弾	傳奉 并銃砲撃	通過	傳奉 操車傳奉	未襲 侵入 投弾	投弾

本月二八日未襲
聞敷

昭和二十年六月十五日

戦況ニ關シテ御説明資料

一、昨十四日南西諸島方面ハ先島諸島方面ヲ除キ雨又ハ曇模

様ニシテ九州方面ヨリスル索敵並ニ航空攻撃ハ實施セズ

敵情不明ナリ

尚菊水十拜作戰モ天候不良ノ爲明十六日ニ延期セリ

二、沖大東島ニ於テハ昨十四日一四五五南東視界内ニ空母

一隻巡洋艦二隻駆逐艦二隻ヲ認メタリ

三、昨十四日南西諸島ニ來襲セル敵機ハ延約一六〇機ニシテ

内大部分ハ奄美大島 喜界島ニ來襲セリ

四、昨十四日「トラック」島ニ於テハ〇五三〇噸ヨリ二三〇〇ニ亘リ英

國ノ標識ヲ附セル艦上機延五七機未襲來飛行場施設

舟艇等ニ銃爆撃ヲ加ヘタリ 尙被害ハ目下調査中ナ

ルモ輕微ノ模様ナリ

五、味方艦船被害

日時	損傷艦船	損傷位置	被害状況	記 事
一四一四三〇	啓東丸(八七噸)	朝鮮東岸	被雷撃沈没	搭載物件不明
一四一四四五	若宮山丸(二三〇噸)	山東半島沖	被雷撃沈没	兵器其他五〇五方米搭載 軍人外二三名便乗

六、各地空襲状況別表ノ通